



# しろね図書館だより

No.121

発行 新潟市立白根図書館  
平成22年6月発行  
(毎月第1水曜日の翌日発行)



▼7月からのあたらしいホームページです。“お気に入り”にくわえてね☆  
【URL】 <http://www.niigatacitylib.jp/> 【ケータイURL】 <http://www.niigatacitylib.jp/k/>

いつも図書館を支えてくださるみなさん、  
ほんとうにありがとうございます。  
しろね図書館は、平成12(2000)年6月に  
白根市立図書館新館としてスタートし、  
今年6月1日で10歳の誕生日を迎えました。  
この記念すべき節目の年をみなさんと祝うため、  
9月25日には10周年記念事業を開催！  
しろね図書館にゆかりのある方々が集い、  
図書館の来し方行く末についてトークします。  
7月からは新潟市の図書館と  
システム統合して、もっともっと便利になります。  
これからも、どうぞ、  
しろね図書館を楽しんでいってくださいね。

## どうしてお休みするの？



図書館システム統合のための休館です。  
この間は、すべてのサービス(電話やHPからのサービスも)をお休みさせていただきます。  
また、例年は2月の蔵書点検を、今年度だけ  
時期を繰り上げて、この期間にあわせて行なう  
ことになりました(そのかわり、平成23年  
2月の蔵書点検はありません)。

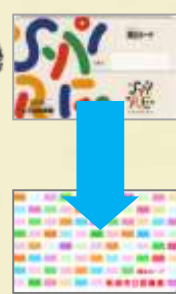
6/30 から 7/11 まで  
休館します

## 休館中の本の返却は…



休館中の返却は、ブックポストをご利用ください。  
A V資料や紙芝居、大きな本などは、壊れる  
おそれがありますので、ブックポストに入れず、  
図書館が開館してからカウンターにお返しく下さい。  
6月16日から休館が始まるまでの間は、  
貸出期間も長くさせていただきますので、  
のんびり読書を楽しむには絶好のチャンスですよ。

## 7/12の開館後は…



7/12(月)から開館しますが、  
このときから今までのカードは  
使えなくなります！共通貸出  
カードに変わりますので、手続きを  
お願いします。免許証など、住所の  
証明できるものをご用意ください。  
混雑しますので、今のうちに他の図書館(月潟や  
中央図書館など)で作っておくことをおすすめします！

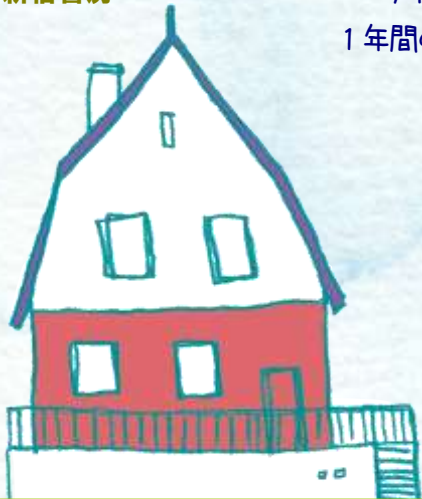
図書館員が  
おすすめする  
この一冊  
奈東 雅美

ステフィ（12歳）とネッリ（7歳）の姉妹は、ナチスドイツのユダヤ人弾圧から逃れて、オーストリアの首都ウィーンからスウェーデンにやって来ます。二人には〈この世の果て〉と思われる海の島で、漁師の家に引き取られて別々に暮らすこととなります。スウェーデン語は話せませんし、食べものや信じる神様も違います。いつかビザがおりてパパとママと一緒にアメリカで暮らせるようになる日を夢みて必死に生きていこうとします。ステフィは、姉の自分がしっかりしなければと思い、両親にもせつせと手紙を書きますが、幼いネッリはすぐにスウェーデン語を覚え、新しい家族になじんでいきます。手紙はあまり書きません。学校へ行くようになると、同年代の子どもたちとの交流も始まります。

# 海の島

## ステフィとネッリの物語 (ティーン949ト)

アニカ・トール=著  
菱木晃子=訳  
新宿書房



二人の姉妹と養父母家族、ウィーンにいる両親との手紙でのやりとりなど1年間の生活が目に見えるように描かれています。あいだに両親と一緒に過ごしたウィーンでの生活が描かれて、二人がなくなったもののおもみが伝わってきます。このあと二人はどうなるか気になって、「睡蓮の池」「海の深み」「大海の光」といっしょに続きを読んでしまうでしょう。中学生以上の人におすすめします。



### 5月/2010

来館者……………14,223人  
貸出冊数……………15,989冊  
予約件数……………402件  
ブックバス利用者……………381人  
ブックバス貸出冊数……………1,174冊

### 予約ランキング

- 1位 1Q84 ①・② (24名)
- 2位 カッコウの卵は誰のもの (14名)
- 3位 1Q84 ③ (7名)  
新参者 (7名)
- 4位 天地明察 (4名)

### ほんのベスト★リーダー 2000-2010

この10年間で何度も何度も貸し出された本のランキングです。しろね図書館でもっとも多くの人から愛された本は……

- 1位 **ぐりとぐら** (334回転) でした!
- 2位 **ぐりとぐらのおおそうじ** (259回転)
- 3位 **ぐりとぐらとすみれちゃん** (216回転)
- 4位 **ぐりとぐらのあいうえお** (210回転)
- 5位 わたしのワンピース (196回転)



(2010.5月末調べ)



ちなみに開館1年目の児童書1位もやっぱり「ぐりとぐら」。ここには5位までしかでていませんが、なんとTOP10の半分が「ぐりとぐら」シリーズ!いつも変わることのない不動の人気ですね。なお、100位までの中に一般書は7冊だけで、そのうち6冊が東野圭吾作品でした。

平成22年5月16日(日) 午後2時

読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

# 「自分の木」の下で

大江健三郎 著 (朝日新聞社)



なぜ、学ぶのか。  
 殺人は、自殺はなぜいけないのか。  
 障がいを持って生まれてきた  
 わが子のこと。  
 そして、生きる理由とは？  
 自身の少年時代のエピソードを  
 織り込みながら、  
 悩んでいる子どもたちと  
 ともに考えるエッセイです。  
 ノーベル賞作家のやさしく、  
 真摯な16のメッセージ。  
 親子で読んで語り合いたい1冊です。

## ★★★ 参加者の感想から ★★★

- ◆ こういう人(著者)の話はなかなか直接聞くことはできないから、本を読んで身につけていかないと。
- ◆ 大水で流された少女の話、生き延びるための決断、結局ひとりであるしかないが、でも一人では生きていけない、つながっていると思う。
- ◆ 「自分の木」、何かで聞いたが、「親」という字は子どもを「木の上」に立って見る「そっだが、今は、上で見ていることに我慢できなくて下に降りてきてしまうそっだ。
- ◆ おばあさんが言うように、もう一人の年取った自分が自分のことを見ていると思えば、もし悪いことをしようと思っても、その見ている自分がどう思うか考えるのでは。
- ◆ 自分の木があると思うとよい。
- ◆ 子どもは見てもらっているという安心感が大事。
- ◆ 「自分がなにを聞きたいのかよく考えておくこと……そのうちに、自分で答えを思いつけば、いちばんいい……それがなければいけない」、自分もこれを意識しようと思った。
- ◆ 「同じ言葉を受けついで話している」という部分の内容と、その後に出てくる小澤征爾さんの話とつながっていると感じた。
- ◆ 「ある時間待ってみてください」とあるが、待つとは忍耐がいると思う。
- ◆ この本は哲学書だと思った。
- ◆ このくらいの方が「自分でやってきた自分の教育に穴ボコがある」と言い、さらにそれを修正しようと努力しているというのがすごい。(内山)

## 次回の読書会

6月20日(日) 14:00~



参加するのに申込は要りません。  
 本は図書館カウンターにありますので、  
 それを読んだら当日学習館2階のルーム  
 2へおいでください。おいしいお茶と  
 お菓子和楽しいトークが待っています★

# タチ

— はるかなるモンゴルをめざして

ジェイムズ・オールドリッジ 著 (評論社)

タチは、モンゴルからイギリスの保護地に送られた、絶滅寸前の貴重なモンゴル馬。  
 ところが、タチはポニーのピープとともに忽然と姿を消してしまいます。  
 — 故郷に帰る。  
 ひたむきな思いに貫かれ、海峡を越え、大陸を横断しモンゴルを目指すタチ。  
 モンゴルの少年バリュートと、イギリスの少女キティーの交わす手紙が綴る、誇り高き野生馬の旅物語です。

6月、みなづき、水の月。田んぼに満々と水が張られ、草木の緑が色濃くなってきました。


生き物たちがエネルギーギッシュに活動する季節です。今回は、子どもたちに身近な生き物、ざりがにの絵本を2冊紹介します。

ぜひ2冊ともお子さんと一緒にご覧になり、ざりがにワールドをお楽しみください。



**ざりがに**  
大さくはさみをふりかざした雄々しいざりがにが、表紙いっぱい描かれ、見るものを引きつけます。はさみが1本になっても、脱皮後は2本になっていることや、メスがたくさんの赤ちゃんざりがにをお腹に抱え守る様子など、生態をわかりやすく伝えてくれる科学絵本です。

吉崎正巳 ぶん・え  
福音館書店

**ざりがにのおうさま まっかちゃん**  
大友康夫 著  
福音館書店

保育園で のぞみは、うまくざりがにを釣れません。自分の力で釣りたくて一生懸命練習します。雨の中、のぞみがざりがに釣りをする場面は圧巻。思わず、手に力が入ります。

**今月の展示架**

**おかげさまで10周年!**

早いもので、しろね図書館も10周年を迎えました。これまでにたくさんの人に読まれた本や、図書館だよりで毎号紹介してきた「図書館員がおすすめするこの1冊」などなど、10年のあゆみを振り返るクロニクルをごらんください。

6/3  
↓  
6/29

6/5～6/30の行事

6月のブックバス

6月5日(土)  
絵本のじかん 14:10～  
おはなし会 14:30～

6月20日(日)  
読書会(ル-42) 14:00～

6月12日(土)  
おはなしかご例会 10:00～  
絵本のじかん 14:10～  
おはなし会 14:30～

6月26日(土)  
雑誌リサイクル  
おはなしかご例会 10:00～  
絵本のじかん 14:10～  
おはなし会 14:30～

6月16日(水)  
4週間貸出開始

6月30日(水)から  
7月11日(日)まで  
システム統合・蔵書点検のため休館

6月19日(土)  
絵本のじかん 14:10～  
おはなし会 14:30～

★6月3日～6月30日までの予定を載せています。  
★巡回日-/の箇所(6/9,6/29)は運休します。  
★システム統合・蔵書点検と夏休み期間のため、6月29日～8月いっぱい運休します。

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	12:55～13:35	6/14 6/28
火A	大通小学校	12:50～13:30	6/15 -/-
木A	新飯田小学校	10:10～10:30	6/3 6/17
	味方小学校	13:15～13:45	6/3 6/17
月B	根岸小学校	児童限定	6/7 6/21
火B	小林小学校	児童限定	6/8 6/22
	白根小学校	13:00～13:40	6/8 6/22
水B	白井小学校	13:00～13:30	-/- 6/23
木B	茨曾根小学校	10:15～10:35	6/10 6/24
	大鷲小学校	児童限定	6/10 6/24